

地元で大人気！

特産みよしの梅出荷ピーク



みよし市のあざぶ梅栽培振興協議会（会長：塚本正邦）が栽培する特産品「みよしの梅」が、まもなく出荷最盛期を迎えます。同協議会は、31人の会員が同市筋生（あざぶ）町を中心に約5.5ヘクタールの果樹園で、小梅、青梅、南高梅を栽培しています。今年の生育は病害虫被害も少なく良好で、平年並みの収穫量を見込んでいます。5月11日ごろに小梅から順次収穫をはじめ、6月上旬までに約6トンの出荷を見込んでいます。

収穫した梅は集荷場へ持ち込み、等級ごとに選別した後、「みよしの梅」として市場やスーパーなどで販売します。また、同集荷場で直売も行っており利用者からは好評です。

同協議会は、愛知県が行う「畑地帯総合整備事業」により畑や遊休農地を整備した土地で、1999年から梅の栽培を始めました。梅は夏前に収穫を終えるためほかの果樹にくらべて水やりが少ない、果実への袋かけも要らないなど、作業負担が少ないことから、高齢者や会社勤めの人でも続けやすい品目です。今では「あざぶ梅の里」として、2～3月には梅の花が見られる有名スポットとなり、多くの人を楽しませています。



▲梅の実をブルーシートに落としてまとめて収穫します



▲集荷所に運んだ梅を手作業で選別します

2025年度あざぶ梅栽培振興協議会概況

栽培人数 31人
栽培面積 約5.5畝
栽培品種 小梅、青梅、南高梅
出荷量 約6ト（2025年度予定）

取材日

日時：2025年5月21日（水） 午前8時30分集合

【収穫作業：9時00分～、選別作業：10時00～】

【雨天予備日 5月22日（木）予定】

集合場所：JAグリーンステーション三好（みよし市三好町上ヶ池1-10）

※当日は、果樹園で行う青梅の収穫作業にご案内し、その後集荷場で行う選果作業にご案内する予定です。

果樹園へはJA職員がご案内します。

※取材を希望の方は、事前に下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 三好営農センター 担当：犬塚

〒470-0214 みよし市明知町西ノ口84-3 電話（0561）32-1006

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

